

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

第 1 推薦	17 教育出版
第 2 推薦	2 東京書籍

小学校 生活 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	○上巻末及び下巻末とも「べんりてちょう」のページがあり、道具の安全な使い方、防災、防犯、交通安全、衛生、健康などについて掲載。
	観点 2	○導入用の単元「すたあとぶつく」がつくられている。 ・2名の児童が通学路の安全ボランティアにあいさつしている写真
	観点 3	○上巻 117 ページ（10 単元） 下巻 121 ページ（9 単元） ○上巻は「学校」「通学路」「家庭」「身近な公園を活動の場とし、下巻は「身近な地域」へと活動の場を広げるように配列している。
	観点 4	○「ポケットずかん」マークで、ポケットずかんの活用を「べんりてちょう」マークで、巻末資料の該当ページで参照するようにそれぞれ促している。
	観点 5	○不思議に思ったことや聞いてみたいことなどを地域の人にインタビューしたり教えてもらったりしている。 ○作成したポスターや新聞を持って町に出かけ、伝え合う場を設定している。
4 大日本	観点 1	○「ありがとうをとどけよう」で、友達や家族へのありがとうの気持ちを、カードに書く学習活動を設定している。 ○「がくしゅうどうぐばこ」のページがあり、災害発生時の行動の仕方、探検中の安全に関する約束や情報、道具の安全な使い方などについて掲載。
	観点 2	○上巻最初の導入ページは見開き 2 ページのイラスト。 ・登校中の児童に地域の住民が手を振ったりほほえみかけたりしているイラスト ○左ページを折りたたんでおり開くことができる。（家族との団らんの様子など）
	観点 3	○上巻 1 3 3 ページ（4 単元） 下巻 1 2 9 ページ（5 単元） ○人、社会、自然を生かした一体の流れで上巻から下巻へと発展していく構成になっている。また、興味・関心が高まる「仕掛け」のページを設けている。
	観点 4	○「せいかつのことば」のマークを付けてページ右端にコラムを設け、言語文化への理解を促している。

	観点5	<p>○情報交流の場として、見つけたことや出会った人をなどを報告するカードを提示する情報コーナーを設定している。</p> <p>○伝え合う活動として、ポスター、掲示板の活用、ホームページなど、多くの人への発信の例を示している。</p>
11 学図	観点1	<p>○「できるようになったこと」で、友達のよいところを「友だちのキラリ見つけたよカード」に書いて伝える学習活動を設定している。</p> <p>○「あんぜんのページ」を設け、交通安全、防災、防犯、道具の安全な使い方について掲載。</p>
	観点2	<p>○上巻最初の導入ページは見開き2ページのイラスト。</p> <p>・楽しそうに登校する児童、たくさんの児童が校庭で遊ぶ様子</p> <p>○両ページとも織り込みで見開き4ページ（登校から帰宅までの様子）</p>
	観点3	<p>○上巻132ページ（5単元） 下巻128ページ（5単元）</p> <p>○「探検」「遊び」「栽培」「飼育」「成長」の5つの活動領域に整理し、ストーリー性をもたせた構成にしている。学習したことを基に解決していく内容を単元終了後に設けている。</p>
	観点4	<p>○大単元最後に「きみならどうするマーク」で、学習したことを生活に生かす活動を促している。</p>
	観点5	<p>○地域の人に教えてもらったり、インタビューしたりしながら調べている。</p> <p>○発表会の招待状やお礼の手紙を書くように促している。</p>
17 教出	観点1	<p>○「自分のすてきをさがそう」で、「〇〇さんすてきだね」カードを使って、友達のいいところを伝え合う学習活動を設定している。</p> <p>○上巻末・下巻末とも「ぐんぐんポケット」があり、交通安全、防災、道具の安全な使い方などを掲載。</p>
	観点2	<p>○記録カードの文字が楷書文字。</p> <p>・ワークシート下に記述に関するコメント（指導者からの言葉かけ）がある。</p> <p>・種の絵の横に、原寸大の種の絵も描いている。</p>
	観点3	<p>○上巻120ページ（8単元） 下巻114ページ（7単元）</p> <p>○自己評価「ふりかえる」の欄や学習したことを家庭や地域に広げる「おうちチャレンジ」を設けている。</p>
	観点4	<p>○ページ上のナビゲートラインに「ぐんぐんポケット」、関連教科及び「せいかつかノート」に関する情報が示されている。</p> <p>○右スペースに、学習のヒントを示す「はっけんひんと」、家庭連携を促す「おうちでちゃれんじ」、自己評価欄「ふりかえる」及び活動上の注意点を示している。</p>
	観点5	<p>○地域の人にインタビューをしたり、いった場所で仕事の体験をしたりしながら、町について調べている。</p> <p>○招待状やお礼の手紙を書いたり地域の人を招いて発表会を開いたりしている。</p>

26 信教	観点1	○『わたしとかぞく』で、家族からの評価を吹き出しや作文の形で掲載。 ○キャラクターが吹き出しで、安全や衛生、道具の使い方に関する注意を喚起している。
	観点2	○上巻最初の導入ページは見開き2ページのイラスト ・楽しそうに登校する児童に地域の住民が手を振ったりほほえみかけたりしている
	観点3	○上巻108ページ(17単元) 下巻100ページ(14単元) ○物語性を持たせた単元展開、行事・季節などを考慮し、児童の意識の流れに沿う時系列の単元配列、地域に根ざした教材と直接体験を重視した単元構成にしている。
	観点4	○各単元の表示のマークを付け、単元間のつながりを示している。
	観点5	○地域の人(レスキュー隊員・パン屋で働く人など)にインタビューしたり、人形浄瑠璃・囲碁などを教わったり、地域の民話を聞いたりして調べる情報交流の場を設定している。
38 光村	観点1	○『みんなにここにこだいさくせん』ステップ「もっとにここにこをふやしたいな」で、家族の感想を聞いて、作戦を立てるよう促したり、家族からの評価を「ここにこさくせんほうこくしょ」で掲載。
	観点2	○記録カードが下巻は罫線なし。(上巻は後半から罫線あり) ○上巻の記録カードに赤線や花丸等指導者の評価が入っている。」
	観点3	○上巻119ページ(7単元) 下巻103ページ(6単元) ○各単元を「花を育てる活動」「季節に触れる活動」など、活動のまとまりごとに構成。視点を広げるヒントを示したり感がる楽しさが実感できる「？」を置いたりしている。
	観点4	○単元を3段階で構成しており、「スタート」「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」のマークで示している。
	観点5	○見付けたことや出会った人をカードにかいて、ペアやクラス全体で交流したり、みんなの意見を地図上に出しあったりして、まとめている。
61 啓林館	観点1	○上巻末に「わくわくずかん」、下巻末に「いきいきずかん」、別冊「せいかったんけんブック」を設け、道具の安全な使い方、探検に関する安全、交通安全、などについて掲載。
	観点2	○上巻最初の導入ページは、見開き2ページのイラスト ・ランドセルを背負った児童、学校生活の4場面(授業・遠足・水泳・運動会)
	観点3	○上巻133ページ(10単元) 下巻125ページ(8単元) ○2年間の季節の移り変わりをベースに、上巻は「学校と生活」、下巻は「地域と生活」をテーマにした単元構成にしている。※別冊49ページ
	観点4	○単元を4段階で構成しており、左上にそれぞれのマークが表示されている。 ○キャラクターが児童に活動を促したり、活動上の注意を喚起したりしている。
	観点5	○地域の人にインタビューしたり教えてもらったりして調べている。 ○地域の多様な人を招いて発表会を開いている。

116 日文	観点1	○巻末「なんでもずかん」に、交通安全、防犯、防災、道具の使い方などに関する情報を掲載。
	観点2	○いろいろな記録シートが用意されている。 ・虫眼鏡内に絵を描いたり実物の種をシートに貼ったりしている。 ・「おおきなあれ」の他に「にこにこかあど」やこまったよかあど」などがある。
	観点3	○上巻138ページ（9単元） 下巻132ページ（6単元） ○多様な対象と出会い、かかわり、関心や意欲を高めながら追究していく構成にしている。
	観点4	○ワンポイント・アドバイスを「青マーク」、安全面やマナー面を「赤マーク」、活動の広がりを「緑マーク」で表示している。
	観点5	○地域の人にインタビューしたり体験したりして調べている。 ○地域の人を招いて発表会を開いている。